

題名	半月板の外傷と障害	項目	
----	-----------	----	--

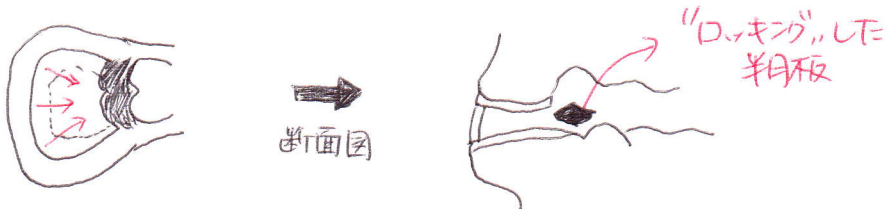
半月板損傷について

- 半月板の損傷は、まあ治らないと聞いていいでしょう。  
(なぜなら、半月板には血管がはいりこんでいないため)

症状

(内側半月板)

- ロックの症状が多い(典型的な症状)



- "バケツ柄杓"損傷の半月板の内周部分が大腿骨と脛骨との接触部を超えて膝の中心部にはまりこんでいる。この状態では膝は完全に伸展できないし、屈曲も制限される。

半月板損傷の診断

- 関節鏡検査が今の現状では、一番確かなとあると考えられます。

治療法

- ① 半月板の全切除      ② 半月板の部分切除 (現在、最もよく行われている方法)
  - ③ 半月板の縫合術
- 縫合術: 半月板の全切除、関節鏡を用いる方法 (かなり設備のととのつて=病院にしかない)

半月板の手術後のリハビリテーション

	関節鏡視下	関節を切開して
取り除いた	2~3週間	4~6週間
縫った	6~8 "	8~11 "
半月板を縫った	3~4週間のギプスによる固定も必要。	

術後のスポーツ復帰

- スポーツ活動を控えるのが望ましいが、個人個人のスポーツに対する考え方によるとおもいます。(本人の意思尊重)